

家畜損害防止関連情報

◆転ばぬ先の削蹄

「さて、一頭の牛には爪が何個あるでしょうか」というのは、雫石町の小岩井農場に行ったときにチビっ子たちから出された質問ですが、毎日、牛を見慣れているみなさんでしたら、まずご存知のことと思います。副蹄を入れて16個です。そのうち地面に接している爪は？そうです、8個です。単純計算すると、体重600キログラムの牛では、1本の脚で150キログラム、1個の爪でなんと75キログラムの重量を支えていることになります。

残念なことに、当管内でも最近、ずいぶん爪の伸びた牛が増えてきています。その伸びた爪で「一肢150キログラムの体重を支えろ」という方が無理というものです。「爪が長くてもまず事故がないから」という言葉をときどき耳にしますが、それは見た目の事故にしか気付いていないということではないでしょうか。

パンクした車で道路を走ったら、ずいぶんガソリンのムダになることでしょうか。さらには車体まで、ということにもなりかねませんね。



爪の伸びすぎや爪かけは事故のもと



定期的な削蹄を